

生物学科

学科のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

<求める入学者像>

1. (学力の基盤) 高等学校レベルの生物学あるいは化学の知識、および英語力を身につけており、学士課程の理学を自律的に学ぶための用意が十分にできている。
2. (論理的思考力) 物事を客観的に分析し、それを基に自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
3. (科学に生きる意志) 生命現象や身の回りの事象に広く関心をもち、科学的にこれらを理解しようとする好奇心と意欲をもっている。さらに、身につけた知識や思考力を社会、文化、地球環境の保全に役立てたいと志している。

学科のディプロマ・ポリシー(DP: 卒業認定・学位授与の方針)

<学科の教育理念と教育目的>

生物学科では、様々な社会の場で科学的合理精神に基づく深い洞察力と創造力により課題をみつけ解決していくことができる能力を涵養し、知識基盤社会の中核を担う人材及び健全な社会の構築に積極的に貢献することができる人材の育成を目指します。この理念を実現するために、大学生活の早期に理学の広い分野を総合的に学び、学年の進行とともに生物学の基礎を固め、知識を体系づけ、発展させます。そして、自然、生命、自然と人間とのかかわりについての高度な専門的知識と包括的な理解を深めます。演習やセミナーにより科学論文や研究結果についてのプレゼンテーション及びディベートの技能を磨き、コミュニケーション能力と課題解決能力を高めます。また、理学系の学生として必須な基本的な実験技術と理論を確実なものとし、高度な実技術と理論を自主的な研究課題の中で応用することができる能力を身につけます。さらに知識基盤社会の中核を担う資質として欠かせない最新の科学的情報の入手及び発信のための情報処理技術及び英語の技能を向上させます。

卒業後は、教育界、製造業、情報産業、自治体の職員などへの道があります。また、さらに高度な知識を修得し様々な技能を磨き、技術者、教育者、研究開発者、科学者を目指して大学院への道を歩むことができます。

<学習の到達目標>

1. (科学的知性) 生物学を中心とする自然科学の基礎知識と技能を修得して自己の中に体系化できている、それを基盤にして自律的に知的能力を発展させることができる。
2. (科学的解決力) 生物学を中心とする自然科学の知識と原理に遡って自然や社会における対象の本質を分析し、実証的な調査・研究を通じて課題を解決に導くことができる。
3. (科学する者の自覚) 社会、文化、地球環境の観点から科学・科学技術の役割と責任を論じることができる。